



CBRE 仙台支店 オフィスリノベーション

少人数オフィスで実現したアクティビティベース型ワークプレイス(ABW)

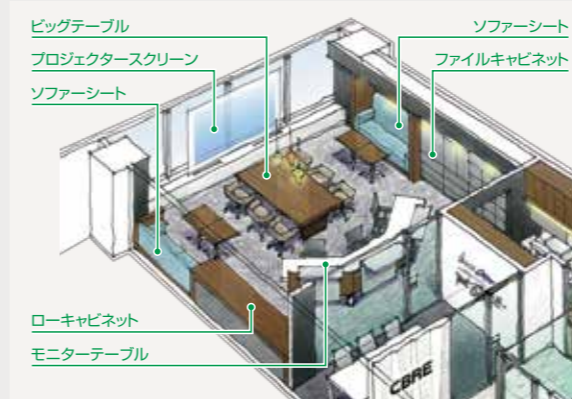
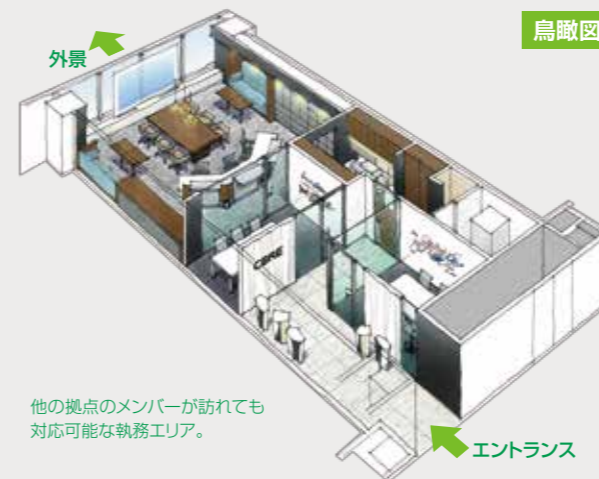
2015年8月17日、CBRE仙台支店は、リノベーションしたオフィスをオープンしました。新しいオフィスのコンセプトは「CBRE Current」(流れ)。仙台市の発展に深く関わってきた広瀬川の「流れ」と、将来へ向けた不動産マーケットの「潮流」の双方から発想を得たコンセプトです。



来客用の会議室。  
パソコンをモニターに接続し、プレゼンテーション等に活用できる。



フリーアドレスのオフィスに必要な個人ロッカー。  
思い思いの写真が話題づくりにも。



仙台支店のオフィスは、「アクティビティベース型ワークプレイス(ABW)」を採用しています。ABWとは、これから行う仕事(アクティビティ)の種類・内容に基づいて、社員が自主的に働く場所をその都度選択できるオフィスです。座席が固定されていないフリーアドレスのオフィス内に、ビジネスシーンに応じた様々なスペースが用意されています。

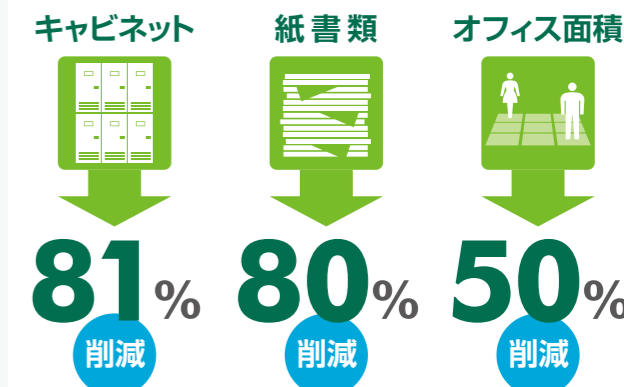
2014年4月、CBRE東京本社が浜松町から丸の内へ移転した際、新オフィスではABWを導入しました。それまで固定席で働いていた約550名の社員(移転当時)が、1,145坪のオフィスに設置された15種類の多様なスペースを、その日の仕事の状況に応じて選択できる執務環境となりました。移転後の調査で、新オフィスで生産性が高まったと社員は評価しています。

仙台支店のように広さ32坪、10名に満たない少人数のオフィスでも、ABWは導入が可能です。オフィスから固定席をなくし、フリーアドレスで共有することで、使用できる空間は広がり、自由度が増すこととなります。デスク主体ではなく、自身体でその日の働き方を設計することができ、これはオフィスの大小には関係ありません。動的かつ変化に富んだワークスタイルで、より効率的に仕事をすることが可能となっています。

CBRE 仙台支店  
オフィスリノベーションによる削減効果

社員7人 72坪

社員7人 32坪



主な設備

- 来客用会議室: 2
- モニター席: 3
- ソファ席: 4
- オープンテーブル席: 6
- フォーンブース: 1



2011年の震災からもうすぐ5年が経ち、仙台・東北も次のステージに向けて大きく躍動しています。2015年3月には、仙台市で国連国際防災会議が開催され、期間中は国内外から延べ15万人以上が参加し、日本で開催された史上最大級の国連関係の国際会議となりました。

2015年12月には仙台市営地下鉄東西線が開通し、2016年6月末には仙台空港の民営化が実施予定と、インフラの整備が着々と行われており、国内外からより多くの集客も期待されます。また2016年5月には日本での主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)開催に合わせて、仙台にてG7財務大臣・中央銀行総裁会議も行われます。

不動産を取り巻く環境が大きく変わっていく中で、まさしくオフィスのコンセプトである“Current”——新しい潮流に乗って、仙台・東北の発展に事業を通して大いに貢献していきたいと考えています。



オフィスの総面積はリノベーション前の72坪から32坪へとスリム化したものの、壁のアートワークやデジタルサインの導入効果もあり、外観や雰囲気は以前と比べてより洗練されたものになりました。デザインはCBRE東京オフィスと連動し、ブランドイメージに配慮しています。

デザインのコンセプトは“Cosmo”(宇宙)。仙台の七夕祭りから、宇宙をイメージしています。会議室も、VEGA(ヴェガ、織姫星)とALTAIR(アルタイル、彗星)と名付けました。エントランスの壁面には、天の川と白鳥の星座にインスピレーションを得、宇宙に羽ばたく白鳥が描かれており、このエリアは“天の川”と名付けました。そして、執務エリアにも同様に、羽ばたく鳥が宇宙とつながる流れを表現しています。



仙台の事業用不動産に関する価値あるご提案をいたします。

## シービーアールイー株式会社 仙台支店

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン16F

TEL022-262-5651

シービーアールイー(CBRE)グループは、「FORTUNE500」や「S&P500」の指標銘柄に選定された、世界最大の事業用不動産サービス企業です。日本では、地域に密着した幅広い情報資源を駆使し、業界のリーダーとして、企業の不動産をめぐるあらゆる課題にソリューションをご提供しています。

